

【家庭総合】 闘茶を体験しました

5月18日（月）、建築・電気科2年生の家庭総合の授業の様子です。

～「味わう」を学ぶ 五感で楽しむ日本の茶文化～として、闘茶を体験していました。

最初に2種類のお茶を飲んだあと、次に3種類のお茶を飲み、どれが最初に飲んだ2種類かを当てることに取り組みました。生徒はそれぞれのお茶の「色、香り、味（甘い、苦い、渋い、さっぱり、濃い、まろやか）」を記録し、どれが最初に飲んだお茶かを当てていました。

ペットボトルで販売されている3種類のお茶ですが、全て当てる生徒もいればそうでない生徒も存在し、かなり難しかったようです。選択した理由に「飲んだあとにきまる」と現代の生徒らしい回答もあり、思わず笑いました。冷やした場合とぬるい場合でも感じ方が違ってくるようです。



SNSにも掲載してあります



@GOTSU_TECHNICAL